

第1問

国語

1 次の文章を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(森 博嗣『科学的とはどういう意味か』による。一部省略等がある。)

(注) 科学とは、民主的にみんなで確認をするシステム、つまり、他者と共有できることが基本となる、と述べた。∴筆者は、このことについて前述している。

(1) 筆者が述べている内容として適切でないものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 科学が「謙虚」だと述べている理由は、僅かな例外があれば肯定できない、という姿勢が科学者にあるからである。
- b 「科学の目的は、すべて人間の幸せにある」といえるのは、科学が客観的に現実を捉えることで、人間や社会に利益をもたらすと考えられるからである。
- c 「科学から自分を無理に遠ざけない」とは、科学者が普通の人にも分かりやすいように研究成果を発信していくことである。
- d 「『見切り』のジャンプ」とは、物事に対して疑問をぶつけることなく、自分が観察したものから勝手に決めつけて結論に至ることである。
- e 普通の人々が「科学的である」ためには、他者と共有するだけでなく、個人においてもあらゆるものを疑い、確かめようとするのが重要である。

(2) (①) ・ (②) ・ (③) に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a ①しかしながら ②ただし ③つまるところ
- b ①このように ②しかし ③したがって
- c ①しかしながら ②とりわけ ③このように
- d ①このように ②とくに ③たとえば
- e ①ただし ②さて ③要するに

- (3) 本文中の傍線部1～5それぞれの漢字の部首名の組み合わせとして、正しいものはどれか。あとのa～eから一つ選びなさい。

ウ

傍線部の漢字

1 険	2 印	3 利	4 類	5 離
-----	-----	-----	-----	-----

- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|---|------|
| a | 1 | くさどくん | 2 | おおざと | 3 | のぎくん | 4 | とめくん |
| | 5 | なぐふた | | | | | | |
| b | 1 | おおざと | 2 | ふしづくり | 3 | のぎくん | 4 | とめくん |
| | 5 | じゅう | | | | | | |
| c | 1 | ふゆがしら | 2 | おおざと | 3 | りつどう | 4 | おおがい |
| | 5 | なぐふた | | | | | | |
| d | 1 | くさどくん | 2 | ふしづくり | 3 | りつどう | 4 | おおがい |
| | 5 | ふるとり | | | | | | |
| e | 1 | おおざと | 2 | おうくん | 3 | にんによう | 4 | のぶん |
| | 5 | ふるとり | | | | | | |

2 次の①～⑤の語を、国語辞典の掲載の早い順に並べたものの組み合わせとして、正しいものはどれか。あとのa～eから一つ選びなさい。 エ

- ① パン ② 番^{ばん} ③ 発熱 ④ ハート ⑤ はごと

- a ④→⑤→③→①→②
 b ⑤→③→①→②→④
 c ⑤→③→②→①→④
 d ④→③→⑤→②→①
 e ④→⑤→③→②→①

3 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 国語の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」である。(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。あとのa～eから一つ選びなさい。 オ

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、(①)による見方・考え方を働かせ、(②)を通して、言葉の(③)や(④)などを理解し(⑤)を深める学習の充実を図ること。

- a ①言語 ②対話活動 ③構成 ④使用法 ⑤自分の思いや考え
 b ①感性 ②調べ学習 ③知識 ④運用法 ⑤学び手としての自覚
 c ①言葉 ②言語活動 ③特徴 ④使い方 ⑤自分の思いや考え
 d ①経験 ②対話活動 ③感覚 ④リズム ⑤他者との相互理解
 e ①言葉 ②言語活動 ③特質 ④伝え方 ⑤他者との相互理解

社 会

- 4 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 社会に示された目標である。
 (①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や (①) を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を (②) に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への (③) を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，(②) な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

- | | | | |
|---|-------|------|-------|
| a | ①調査活動 | ②多面的 | ③関わり方 |
| b | ①生活経験 | ②多面的 | ③関わり方 |
| c | ①調査活動 | ②多面的 | ③責任 |
| d | ①生活経験 | ②多角的 | ③責任 |
| e | ①調査活動 | ②多角的 | ③関わり方 |

- 5 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 社会に示された第6学年の目標の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

〔第6学年〕 1 目標

(1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き，国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた (①)，我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の (②) について理解するとともに，地図帳や地球儀，(③) などの各種の基礎的資料を通して，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

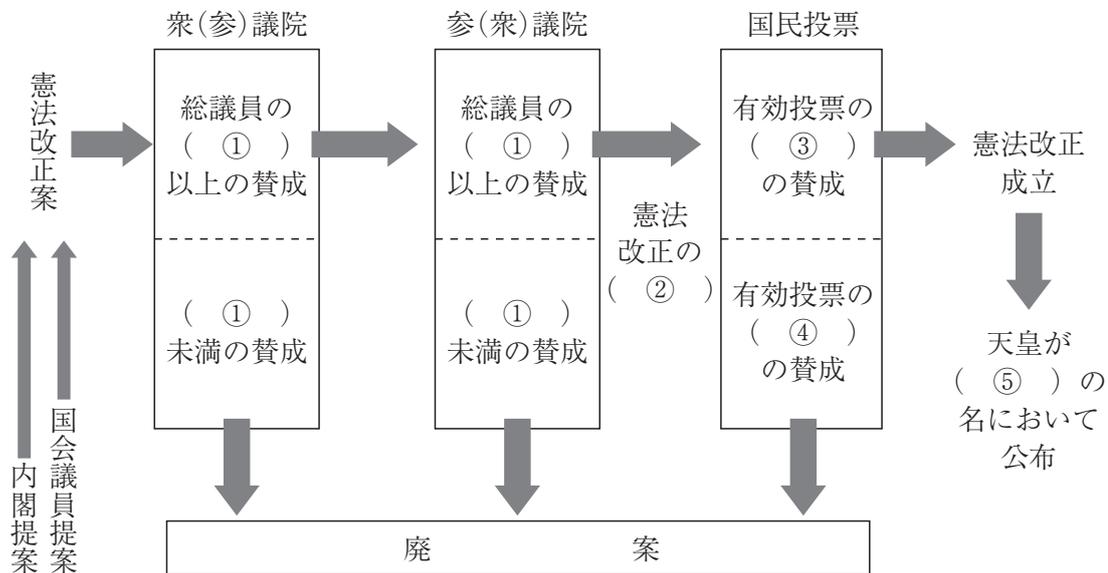
- a ①文化遺産 ②責任 ③図録
 b ①文化遺産 ②役割 ③統計や年表
 c ①文化遺産 ②義務 ③統計や年表
 d ①国宝 ②責任 ③統計や年表
 e ①国宝 ②義務 ③図録

- 6 次の文は、地形について説明したものである。正しくないものはどれか。次のa~eから一つ選びなさい。

- a 河川が山地から平地に流れでるところに、河川によって運ばれた土砂が、山のふもとにたまってできた扇形の地形を扇状地という。
 b 河川の河口部に、河川によって運ばれた細かい土砂が積もってできた地形を三角州という。
 c 山地が海に沈んで、谷の部分に海水が入りこんでできた地形をリアス海岸という。
 d 氷河の侵食によって生じたU字谷に、海水が入りこんでできた入り江をフィヨルドという。
 e 岩が波の力によってけずられてできた地形をカルスト地形という。

7 次の図は、日本国憲法改正の手続きを表している。(①) ~ (⑤) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

ケ



- a ①過半数 ②閣議 ③過半数 ④半数以下 ⑤内閣
- b ①過半数 ②発議 ③ $\frac{2}{3}$ ④ $\frac{2}{3}$ 未満 ⑤国民
- c ① $\frac{2}{3}$ ②発議 ③過半数 ④半数以下 ⑤国民
- d ① $\frac{2}{3}$ ②閣議 ③ $\frac{2}{3}$ ④ $\frac{2}{3}$ 未満 ⑤国民
- e ① $\frac{2}{3}$ ②閣議 ③過半数 ④半数以下 ⑤内閣

8 1960年代以降の日本の歴代内閣とその施策等について述べたものとして正しくないものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a 池田勇人内閣では、10年間で国民所得を2倍にするという「国民所得倍増計画」を政策の中心においた。
- b 福田赳夫内閣では、外交面において、東南アジアと日本の関係を強化し、中国との間で日中平和友好条約を結び、政治的・経済的関係を深めた。
- c 中曽根康弘内閣では、電電公社（いまのNTT）・専売公社（いまのJT）・国鉄（いまのJR）の民営化などを実施した。
- d 小泉純一郎内閣では、「聖域なき構造改革」を掲げ、規制緩和や郵政事業の民営化をおこない、日本郵政公社を発足させた。
- e 菅直人内閣では、郵政民営化の見直し、子ども手当の創設や高校授業料の原則無償化を実現し、消費税増税法を成立させた。

第2問

算 数

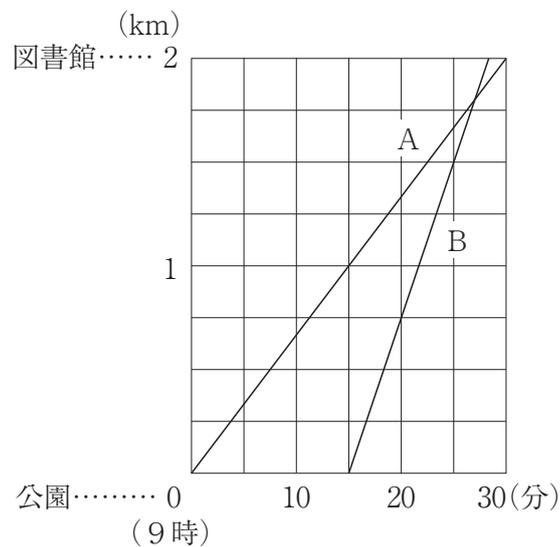
- 9 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 算数編 第2章 第1節 算数科の目標 に示されている数学的活動に関する記述の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

数学的活動とは、事象を数理的に捉えて、算数の問題を見だし、問題を (①) に解決する過程を遂行することである。数学的活動においては、単に問題を解決することのみならず、問題解決の過程や結果を (②)、得られた結果を捉え直したり、新たな問題を見いだしたりして、(③) に考察を進めていくことが大切である。

- | | | | |
|---|-----------|--------|----------|
| a | ①主体的 | ②振り返って | ③統合的・発展的 |
| b | ①自立的, 協働的 | ②振り返って | ③統合的・発展的 |
| c | ①自立的, 協働的 | ②見通して | ③総合的 |
| d | ①論理的 | ②振り返って | ③総合的 |
| e | ①論理的 | ②見通して | ③統合的・発展的 |
- 10 A中学校の昨年のテニス部の部員数は、男女あわせて50人であった。今年は昨年とくらべて男子は10%、女子は20%増えたので、男女あわせて57人になった。昨年の女子と男子の部員数の差を、次のa~eから一つ選びなさい。
- a 6人 b 8人 c 10人 d 12人 e 14人

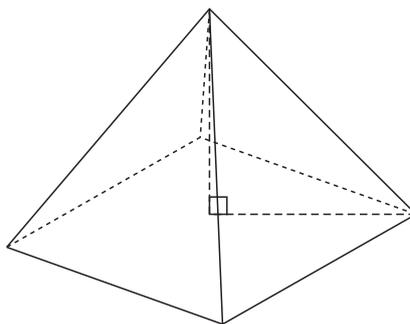
- 11 6本のうち、あたりが2本入っているくじがある。このくじを同時に2本ひくとき、少なくとも1本があたりである確率を、次のa~eから一つ選びなさい。
- a $\frac{2}{5}$ b $\frac{7}{15}$ c $\frac{8}{15}$ d $\frac{3}{5}$ e $\frac{2}{3}$

- 12 Aさんは9時に公園を出て、2km離れた図書館へ徒歩で行った。BさんはAさんが出発して15分後に同じ公園を出て、同じ図書館へ自転車で行った。次の図は、そのときの時刻と公園からの道のりの関係を示している。BさんがAさんに追いついた時刻を、下のa～eから一つ選びなさい。



- a 9時26分30秒 b 9時26分45秒 c 9時27分
d 9時27分15秒 e 9時27分30秒

- 13 すべての辺の長さが6cmである正四角錐の体積を、下のa～eから一つ選びなさい。



- a $18\sqrt{2} \text{ cm}^3$ b $24\sqrt{2} \text{ cm}^3$ c $28\sqrt{2} \text{ cm}^3$ d $32\sqrt{2} \text{ cm}^3$ e $36\sqrt{2} \text{ cm}^3$

理 科

14 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 理科に示された目標である。
 (①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。
 下のa~eから一つ選びなさい。 カ

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、(①)をもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を(②)に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
 (3) (③) 心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

- | | | |
|----------|------|----------|
| a ①見通し | ②科学的 | ③生物を愛護する |
| b ①興味・関心 | ②主体的 | ③生命を尊重する |
| c ①見通し | ②科学的 | ③自然を愛する |
| d ①興味・関心 | ②科学的 | ③自然を愛する |
| e ①見通し | ②主体的 | ③生命を尊重する |

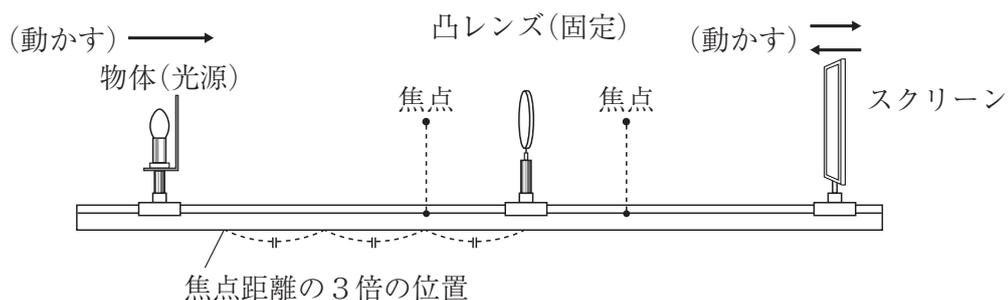
- (2) 次の①~④は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 理科編 第2章 理科の目標及び内容 第1節 教科の目標(2)に示されている学年を通して育成を目指す問題解決の力である。学年とその力の組み合わせとして正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。 キ

- ① 主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想するといった問題解決の力
 ② 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだすといった問題解決の力
 ③ 主により妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力
 ④ 主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想するといった問題解決の力

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| a 第3学年・① | 第4学年・④ | 第5学年・③ | 第6学年・② |
| b 第3学年・② | 第4学年・④ | 第5学年・① | 第6学年・③ |
| c 第3学年・② | 第4学年・① | 第5学年・④ | 第6学年・③ |
| d 第3学年・④ | 第4学年・① | 第5学年・③ | 第6学年・② |
| e 第3学年・④ | 第4学年・② | 第5学年・① | 第6学年・③ |

15 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の図は、凸レンズによる実像のでき方を調べる装置である。凸レンズから凸レンズの焦点距離の3倍、2倍、1.5倍、1倍、0.5倍の位置に物体(光源)を置き、スクリーンにはっきりとした実像ができるようにスクリーンを動かしたとき、はっきりとした実像が見えるスクリーンの位置の説明として最も適切なものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。



- a 物体(光源)が焦点距離の3倍の位置にある時、実像は焦点距離よりも近い位置に見える。
- b 物体(光源)が焦点距離の2倍の位置にある時、実像は焦点距離の2倍の位置に見える。
- c 物体(光源)が焦点距離の1.5倍の位置にある時、実像は焦点距離の1.5倍の位置に見える。
- d 物体(光源)が焦点距離の1倍の位置にある時、実像は焦点距離の位置に見える。
- e 物体(光源)が焦点距離の0.5倍の位置にある時、実像は焦点距離よりも遠い位置に見える。

(2) 火成岩の名称とつくり（組織）の組み合わせとして正しいものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a 玄武岩 — 等粒状組織
- b はんれい岩 — 斑状組織
- c 安山岩 — 等粒状組織
- d せん緑岩 — 斑状組織
- e 花こう岩 — 等粒状組織

(3) 次の文は、光学顕微鏡の使用方法や注意点について述べたものである。適切でないものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a 接眼レンズをのぞきながら、調節ねじを回して、対物レンズにプレパラートを近づけていき、ピントが合ったら止める。
- b 直射日光があたらない明るいところに置く。
- c ピントが合ったら、観察したいものがはっきりと見えるように、しぼりで調節する。
- d はじめは低倍率で観察して、見たいところをさらに高倍率で観察する。
- e 対物レンズの倍率が高くなると、低倍率のときよりも視野全体は暗くなるので、しぼりや反射鏡で光の強さを調整する。

生活

- 16 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 生活に示された目標である。
 (①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。 ア

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (①) の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な (②) や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、(③) や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、(④) をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

- | | | | | |
|---|--------|-----|-------|--------|
| a | ①活動や体験 | ②知識 | ③自分自身 | ④意欲や自信 |
| b | ①成長 | ②知識 | ③家族 | ④知識や技能 |
| c | ①活動や体験 | ②習慣 | ③自分自身 | ④意欲や自信 |
| d | ①成長 | ②習慣 | ③友達 | ④意欲や自信 |
| e | ①成長 | ②学力 | ③家族 | ④知識や技能 |

- 17 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 生活の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (4)」である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続できるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期における (①) を通した総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より (②) な学びに向かうことが可能となるようにすること。その際、生活科を中心とした合科的・(③) な指導や、(④) な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

- | | | | | |
|---|--------|------|------|------|
| a | ①遊び | ②連続的 | ③関連的 | ④柔軟 |
| b | ①活動・体験 | ②発展的 | ③総合的 | ④計画的 |
| c | ①遊び | ②自覚的 | ③総合的 | ④応用的 |
| d | ①遊び | ②自覚的 | ③関連的 | ④弾力的 |
| e | ①活動・体験 | ②発展的 | ③総合的 | ④多様 |

- 18 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 生活編 第5章 第2節 生活科における年間指導計画の作成の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

生活科は、(①) を活動や体験の場や対象とするため、生活経験を含めた児童の実態や (②) 等の把握が必要となる。また、低学年における教育の柱として、学校の全教育活動との関わり、幼児期の教育や中学年以降の教育との関わりにも留意する必要がある。加えて、一人一人の違いを大切にし多様性へ対応するためにも、学校内外の (③) を図ったり、時数を適切に割り振ったりすることも重要となる。

- | | | | |
|---|---------|-------|----------|
| a | ①地域社会 | ②日常生活 | ③教育資源の活用 |
| b | ①地域社会 | ②地域環境 | ③連携の強化 |
| c | ①身近な生活圏 | ②地域環境 | ③連携の強化 |
| d | ①身近な生活圏 | ②地域環境 | ③教育資源の活用 |
| e | ①地域社会 | ②日常生活 | ③連携の強化 |

図画工作

19 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 図画工作に示された目標である。(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 ア

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の(①)を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的に(②)ことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、(③)発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、(④)生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

- a ①感覚や行為 ②表す ③創造的に
④楽しく豊かな
- b ①感覚や行為 ②つくったり表したりする ③主題を生み出し豊かに
④心豊かな
- c ①感覚や経験 ②表す ③主題を生み出し豊かに
④楽しく豊かな
- d ①感覚や経験 ②つくったり表したりする ③主題を生み出し豊かに
④心豊かな
- e ①感覚や行為 ②つくったり表したりする ③創造的に
④楽しく豊かな

- (2) 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項 材料や用具に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

【第1学年及び第2学年】

粘土には、土粘土、油粘土、紙粘土などのいろいろな種類が考えられる。低学年では手や体全体の感覚などを十分に働かせ、感触や手応えを楽しめるような (①) に親しませることが重要である。

【第3学年及び第4学年】

筆などの水彩絵の具に関連する用具については、筆の弾力性を生かしてかく、^{はけ}刷毛や細い筆などの様々な種類を使う、パレットや絵の具皿を使うなど、児童がいろいろな扱い方を (②) ようにすることが大切である。

【第5学年及び第6学年】

針金は、ペンチなどを用いて適切な長さに切って使ったり、材料同士をしばったりすることでいろいろな作品をつくらることができる材料である。(③) 針金は、クランクにしたり、バランスをとれるようにしたりすることで、動く仕組みをつくらることができる。(④) 針金のように柔らかいものは、布などの他の材料と併用するなどして、表現の幅を広げることができる。

- | | | | | |
|---|------|--------|-----|--------|
| a | ①油粘土 | ②身に付ける | ③太い | ④アルミ |
| b | ①土粘土 | ②見付ける | ③太い | ④アルミ |
| c | ①油粘土 | ②見付ける | ③太い | ④アルミ |
| d | ①土粘土 | ②見付ける | ③細い | ④ステンレス |
| e | ①油粘土 | ②身に付ける | ③細い | ④ステンレス |

20 次の文は、さまざまな画材について述べたものである。適切でない説明が含まれているものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

ウ

a クレヨン・パス

- ・色を重ねて塗って、釘や割り箸などで引っかくと、下の色が出てくる。
- ・クレヨンやパスで描いて、その上から絵の具を塗ると、絵の具をはじく。

b 鉛筆

- ・硬めの芯（H）から軟らかめの芯（B）まで、芯の硬さには段階がある。
- ・芯が硬くなるほど濃度がつけやすくなる。

c パステル

- ・粉末の顔料を固めた画材である。
- ・ぼかしによる柔らかな表現ができる。

d 水彩絵の具

- ・筆の使い方を工夫したり、加える水の分量を変えたりして、さまざまな表現を生み出すことができる。
- ・同じ量の絵の具でも、水を少なくすると濃く、水を多くすると薄くなる。

e ポスターカラー

- ・不透明水彩絵の具の一種だが、乾いても水に溶ける性質をもつ。
- ・発色がよく、面を均一に塗るのに適している。

21 次の作品と作者名との組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a～e から一つ
 選びなさい。

エ

①

②

③

④

- | | | |
|---|------------------|------------------|
| a | ①ミケランジェロ・ブオナローティ | ②レオナルド・ダ・ヴィンチ |
| | ③サンドロ・ボッティチェリ | ④ラファエロ・サンティ |
| b | ①サンドロ・ボッティチェリ | ②ミケランジェロ・ブオナローティ |
| | ③レオナルド・ダ・ヴィンチ | ④ラファエロ・サンティ |
| c | ①サンドロ・ボッティチェリ | ②レオナルド・ダ・ヴィンチ |
| | ③ミケランジェロ・ブオナローティ | ④ラファエロ・サンティ |
| d | ①ラファエロ・サンティ | ②レオナルド・ダ・ヴィンチ |
| | ③ミケランジェロ・ブオナローティ | ④サンドロ・ボッティチェリ |
| e | ①サンドロ・ボッティチェリ | ②ラファエロ・サンティ |
| | ③ミケランジェロ・ブオナローティ | ④レオナルド・ダ・ヴィンチ |

家庭

- 22 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 家庭に示された目標である。
 (①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する (①) ・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る (②) を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を (③) し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する (①) な態度を養う。

- | | | |
|--------|-----|--------|
| a ①主体的 | ②技能 | ③評価 |
| b ①実践的 | ②技術 | ③改善 |
| c ①実践的 | ②技能 | ③評価・改善 |
| d ①主体的 | ②技術 | ③評価・改善 |
| e ①実践的 | ②技能 | ③改善 |

- 23 だし汁の材料とそのとり方を示したものとして、適切でないものはどれか。次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a かつおぶしでだしをとる場合は、沸騰した湯にかつおぶしを入れ、再び沸騰したら火を消し、かつおぶしがしずんだらこして使う。
- b こんぶでだしをとる場合は、こんぶをぬれ布巾で拭いておく。
- c こんぶでだしをとる場合は、こんぶを水から入れてしばらくおき、大きくなってから火をつけ、沸騰直前に取り出す。
- d 煮干しでだしをとる場合は、なべに水を入れ、頭とはらわたを取った煮干しを入れておく。
- e 煮干しでだしをとる場合は、煮干しの入ったなべの水が沸騰したら、すぐに煮干しを取り出す。

24 次の表は、衣類等の繊維製品の新しい洗濯表示に関する記号とその意味である。表示記号と意味の組み合わせとして、適切でないものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

キ

	表示記号	意味
a		液温は、50℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる。
b		塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
c		日陰の濡れ平干し乾燥がよい。
d		アイロン仕上げ処理ができる。底面温度は110℃を限度とする。
e		石油系溶剤による通常のドライクリーニング処理ができる。

外国語活動

25 次の(1)～(3)の対話について、(①)～(③)に該当する英文の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

ア

(1) A : Hello. Can I have a chicken sandwich to take away, please?

B : Sure. (①)

A : A baguette, please.

(2) A : Excuse me. There is a mistake.

B : (②)

A : We asked for a more luxurious room.

B : Let me check the computer.

(3) A : Would you like to buy any duty-free items?

B : Yes, I'd like this hat, please.

A : Certainly. (③)

a ① What kind of bread do you want?

② What's wrong?

③ Would you like to try it off?

b ① What size of bread do you want?

② What's good?

③ Would you like to try it out?

c ① What kind of bread do you want?

② What's wrong?

③ Would you like to try it on?

d ① What color of bread do you want?

② What's sad?

③ Would you like to try it out?

e ① What size of bread do you want?

② What's wrong?

③ Would you like to take it on?

26 次の会話文で、(①) ~ (③) に該当する英文の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

- a ① How do we go to a movie?
② That's terrible.
③ That sounds OK.
- b ① Why don't we go to a movie?
② That's a great idea.
③ That sounds good to me.
- c ① Who do we go to a movie with?
② That's terrific.
③ That sounds good to me.
- d ① Why don't we go to a movie?
② That's terrible.
③ That sounds alright.
- e ① How do we go to a movie?
② That's a great idea.
③ That sounds awful.

第6問

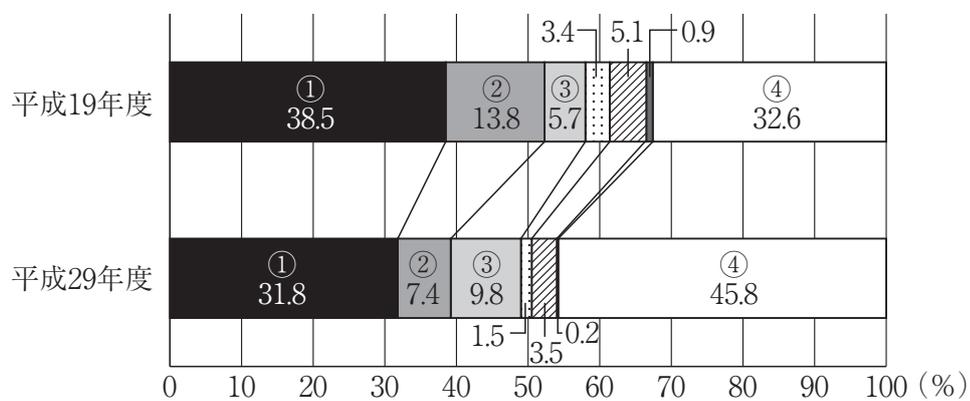
27 次の文は、平成30年2月2日 心のバリアフリー学習推進会議より報告された「学校における交流及び共同学習の推進について～「心のバリアフリー」の実現に向けて～」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(1) 交流及び共同学習に関する基本的な考え方

- 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校（以下「小・中学校等」という。）並びに特別支援学校が行う、障害のある児童生徒等と障害のない児童生徒等の交流及び共同学習は、障害のある児童生徒等にとっても、障害のない児童生徒等にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有する。
- このような交流及び共同学習は、学校卒業後においても、障害のある児童生徒等にとっては、様々な人々と共に助け合い支え合って生きていく力となり、積極的な につながるとともに、障害のない児童生徒等にとっては、障害のある人に自然に言葉をかけて手助けをしたり、障害のある人に対する支援を行う場に積極的に参加したりする行動や、人々の を理解し、障害のある人と共に支え合う意識の醸成につながり、さらに、児童生徒等の成長を通じてその の意識の向上も促すなど、社会における「心のバリアフリー」の実現に資するものである。

<input type="text" value="ア"/>	a 理解	b 尊重	c 尊敬	d 注目
<input type="text" value="イ"/>	a コミュニケーション	b 就労	c 社会参加	
	d 生活態度			
<input type="text" value="ウ"/>	a 多様な在り方	b 障害特性	c 長所短所	
	d 基本的人権			
<input type="text" value="エ"/>	a 支援者	b 保護者	c 教職員	
	d 関係者			

28 次のグラフは「平成29年度 高知県の特別支援教育資料」の「5 年度別特別支援学級数」をもとに、平成19年度と平成29年度の障害種別の設置状況割合を示したものである。①～④に該当する障害種について適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。 オ



- a ① 自閉症・情緒障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 知的障害
- b ① 知的障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 自閉症・情緒障害
- c ① 自閉症・情緒障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 聴覚障害
- d ① 聴覚障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 知的障害

- 29 次の文は、文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」の「Ⅲ 留意事項 第1 高等学校における通級による指導の制度化関係 2 実施形態について」の一部である。文中の（ア）～（ウ）に該当する障害種について適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

カ

通級による指導の実態形態としては、①生徒が在学する学校において指導を受ける「（ア）」、②他の学校に週に何単位時間か定期的に通級し、指導を受ける「（イ）」、③通級による指導の担当教員が該当する生徒がいる学校に赴き、又は複数の学校を巡回して指導を行う「（ウ）」が考えられる。実施に当たっては、対象になる生徒の人数と指導の教育的効果との関係性、生徒や保護者にとっての心理的な抵抗感・通学の負担・学校との相談の利便性、通級による指導の担当教員と通常の授業の担任教員との連絡調整の利便性等を総合的に勘案し、各学校や地域の実態を踏まえて効果的な形態を選択すること。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|------|---|------|
| a | ア | 自校学習 | イ | 他校学習 | ウ | 巡回相談 |
| b | ア | 自校通級 | イ | 他校通級 | ウ | 巡回指導 |
| c | ア | 個別学習 | イ | 定期通級 | ウ | 巡回学習 |
| d | ア | 特別支援学級 | イ | 他校通級 | ウ | 巡回相談 |

